

分子イメージング研究戦略推進プログラム(J - AMP)
キックオフシンポジウム 2010

平成 17 年度～平成 21 年度に文部科学省により実施された「分子イメージング研究プログラム」(第 期)において、放射線医学総合研究所は PET 疾患診断研究拠点に、理化学研究所は創薬候補物質探索拠点に選定され、創薬プロセスの改革、疾患診断・治療評価技術開発に向けた研究基盤の整備とともに、国内の分子イメージング研究の中核拠点として研究成果をあげました。平成 22 年度より、第 期プログラムで開発された要素技術を医療分野に適用し素早く臨床応用に結び付けることを目的とした「分子イメージング研究戦略推進プログラム」(第 期)が開始されました。本プログラムでは、がん・認知症分野に重点化し、公募で採択された複数の機関と連携して臨床応用へ向けた共同研究を行い、実用化へ向け一日も早い成果創出を目指していきます。また、分子イメージング技術をさらにサイエンスとして根付かせるため若手研究者や技術者の人材育成にも力を入れて行く所存です。

第 期プログラムに引き続き拠点に選定された放医研と理研は、この度「第 期プログラムの成果、第 期プログラムの目的・目標、今後の分子イメージング技術への期待」などを演題としたキックオフシンポジウムを開催いたします。皆様奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

日時 平成 22 年 11 月 24 日(水) (9:30 開場)10:00～17:45
会場 オリピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール
定員 600 名 (入場無料)
定員になり次第、受付を終了させていただきます。
申込み 事前 Web 登録制 受付締切日:平成 22 年 11 月 16 日(火)
http://www.nirs.go.jp/news/event/2010/11_24.shtml
よりお申し込みください
主催 放射線医学総合研究所 理化学研究所
共催 文部科学省
問い合わせ 放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター
運営企画ユニット
TEL: 043-206-4706
FAX: 043-206-4079
E-mail: micsympo@nirs.go.jp

プログラム

10:00-10:05 開会の辞

米倉 義晴（放射線医学総合研究所 理事長）

10:05-10:20 文部科学省・関係府省（予定）挨拶

倉持 隆雄（文部科学省 研究振興局 局長）

10:20-11:00 基調講演

分子イメージング研究戦略推進プログラムの目指すもの

杉山 雄一

（分子イメージング研究戦略推進プログラム プログラムディレクター）

11:00-11:30 PET 疾患診断拠点

PET で開く生命の窓：生命科学と医療との接点

藤林 靖久

（放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター センター長）

11:30-12:00 創薬候補物質探索拠点

理化学研究所分子イメージング科学研究センター活動の概要

：J-AMP 研究拠点として

渡辺 恭良

（理化学研究所 分子イメージング科学研究センター センター長）

13:00-15:30 共同研究

【がん分野】

分子イメージング領域のがん臨床試験を今後どう発展させるべきか

藤原 康弘

（分子イメージング研究戦略推進プログラム プログラムオフィサー）

^{64}Cu -DOTA-トラスツズマブを用いた HER2 陽性乳がんに対する分子イメージング

田村 研治

（国立がん研究センター中央病院）

がん幹細胞を標的としたがん根絶治療法の創出

近藤 亨

（愛媛大学 プロテオ医学研究センター）

低酸素 PET プローブを用いた難治がん描出

治療計画への応用を目指して

岡沢 秀彦

（福井大学 高エネルギー医学研究センター）

新しい細胞塊培養によるがん難治性部位の探索

井上 正宏
(大阪府立成人病センター)

【認知症分野】

認知症の根本治療を目指して：分子イメージングへの期待

岩坪 威
(分子イメージング研究戦略推進プログラム プログラムオフィサー)

認知症用の炎症 PET プローブの臨床開発

佐々木 将博
(先端医療振興財団 先端医療センター)

分子イメージングによるタウ凝集阻害剤開発

萩原 正敏
(京都大学大学院 医学研究科)

特異的プローブによるタウおよび A β 蓄積メカニズムの解明

工藤 幸司
(東北大学 未来医工学治療開発センター)

A 代謝・蓄積と炎症反応の相互作用の解明

岩田 修永
(理化学研究所 脳科学総合研究センター)

15:45-17:00 高度専門人材育成

「創薬候補物質探索拠点」を活用した高度専門人材育成

岡山分子イメージング高度専門人材育成事業

槇野 博史
(岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科)

浜松医科大学におけるイメージング研究の展開と PET 研究人材育成

間賀田 泰寛
(浜松医科大学 分子イメージング先端研究センター)

医薬理工連携による PET 教育研究拠点

畑沢 順
(大阪大学大学院 医学系研究科)

連携大学院による組織融合的分子イメージング研究教育の推進

谷内 一彦
(東北大学大学院 医学系研究科)

医薬工連携を活かした PET 専門人材育成拠点：北海道大学での取り組み

玉木 長良
(北海道大学 医学研究科)

17:00-17:40 特別講演

新薬創製に貢献する分子イメージング技術への期待

西島 和三

(持田製薬 医薬開発本部 専任主事 /

東北大学 未来科学技術共同研究センター 客員教授)

分子イメージング創薬の展望

矢野 恒夫

(理化学研究所 分子イメージング科学研究センター コーディネーター /

医薬品開発支援機構(ADPP) 理事)

17:40-17:45 閉会の辞

古屋 輝夫 (理化学研究所 理事)